

## 持続可能な森林経営と生物多様性の保全

事業会社	CENIBRA
実施場所	ブラジル・ミナスジェライス州
連携・協働相手	NGO団体、ミナスジェライス州森林局
Website	<a href="#">MUTUM PROJECT</a>
キーワード	環境保全林、生物多様性保全

### 活動概要

CENIBRAの環境保全林のうち、特に生物多様性の高いエリアである「マセドニア・ファーム」内の560haは、民間自然遺産保護区（RPPN※）として国に認定されています。ここには「大西洋岸森林（マタ・アトランチカ）」の貴重な生態系が残っており、森林認証における高保護価値エリアとしても特定し、生物多様性に対する悪影響を回避するよう管理しています。

1990年から、CENIBRAは絶滅危惧種の鳥類の繁殖を専門とするNGOを支援しており、大西洋岸森林に固有の絶滅危惧種であるムトゥン（アカハシホウカンチョウ）など数種を野生に戻しています（ムトゥンプロジェクト）。これにより、マセドニアファーム内で計7種480羽が放鳥され、さらに放鳥個体から342羽のヒナが野生で誕生し、個体数が増加しています。現在、州森林局とのパートナーシップを結び、放鳥地域を拡大し、同社の森林だけでなく、隣接する州立公園でも放鳥が行われています。2023年には、リオドセ州立公園近くにさらに10ペアのムトゥンが放鳥され、50年以上にわたり地域絶滅の状態だったこの種が公園の種リストに再び追加されました。

※RPPN: Reserva Particular do Patrimônio Natural



「マセドニア・ファーム」に生息するムトゥン（アカハシホウカンチョウ）